

1学年通信

山形県立米沢興譲館高等学校
1学年
第20号
2016(平成28).11.2(水)発行

11月進研記述模試

模試当日の日程

11月12日(土)

登校	8:15(登校後私物を廊下へ)
出欠確認	8:20(出席番号順に着席)
カード記入	8:25~8:35(10分)
英語	8:45~10:05(80分)
数学	10:20~12:00(100分)
昼食	12:00~12:40(40分)
国語	12:40~14:00(80分)
自己採点	14:10~14:50(40分)
教室清掃	14:50~15:00(10分)

11月13日(日)

登校	8:15(大多目的教室)
出欠確認	8:20(進路係)
解説①	8:40~9:40(60分)
解説②	9:50~10:50(60分)
解説③	11:00~12:00(60分)

11月13日(日)は12日(土)に受験した模試の解説会を実施しますので、受験者は全員参加します。国数2教科の解説を行います。詳細な時間割は後日教室掲示します。

☆出欠確認・・・進路係が欠席者を確認し、職員室の監督者へ報告する。

☆カード記入・・・受験カードの記入を行う。指示にしたがって記入する。

☆自己採点・・・模試を振り返り、おおよその得点を把握する。自己採点がしっかりとできるように、問題冊子に自分の解答を簡単に書き留める。また、解答解説冊子を利用して、間違えた問題の復習を行う。

模試受験に向けて

7月に初めての模擬試験を受験して、2学期初めに結果を受け取ったと思いますがどうだったでしょうか? 厳しい現実を突き付けられた人もいるかもしれません。さて、模試の目的は何でしょうか。

模擬試験は「スポーツの大会に似ている」と思います。高校部活動の大きな目標は全国高校総体(IH)出場、文化部も同様に全国大会出場です。その最後の勝負に向けて練習試合を行い地区や県大会を戦います。模擬試験はその「地区・県大会」に相当すると考えてみてください。その大会まで勝利を目指し一生懸命練習します。勝利を得ることはできるでしょうが、県や東北と勝ち進むと、いずれはどこかで敗北があります。そのとき、それまでの準備に対する反省があり、それを踏まえて今後の対策を計画します。模擬試験も同様です。最も大切なのは「当日までの準備」です。それは正に日々の学習であり、学習の成果を試すのが模擬試験です。直前に過去問題などを解くこともありますが、模擬試験には同じ問題は出題されませんので結果には正直に「今の実力」が現れます。ですから、日々の授業や課題等に対する取り組み方が重要です。

模試当日の準備・心構え

○模試の心構え

模試は、本番の大学入試の「模擬」試験です。模試を受験する際は、「本番を想定」して受験することが重要になります。3月10日の高校入試の際、あなたはリラックスして試験を受けられましたか? おそらく極度の緊張状態で試験に臨んだ人が多いはず。つまり、模試も本番同様の緊張感の中で受験することが「本番を想定」していることになります。緊張状態の中で、普段の実力を出せるかどうかは大学入試でも非常に重要ですから、是非本番に近い「模擬」試験になるようにクラスで雰囲気を作ることが大切です。

○模試当日の持ち物

間もなく高校3年生が受験するセンター試験を例にすると、受験場に持ち込めるのは基本、「筆記用具(鉛筆・シャープペンシル・消しゴム)、時計、鉛筆削り」です。皆さんは普段の定期試験や前回の模試ではどのようにして時間を確認していますか? 本番では受験場に時計があるとは限りません。必ず各自で腕時計などを準備することになります。今回を機に時計を準備して、試験に限らず普段から自分の時計で時間を確認することを勧めます。

今回の模試では、受験翌日に国語・数学の先生方が模擬試験の問題の一部を解説して下さいます。復習については、解答解説冊子を自分で参考にして行うことが基本ですから、先生方の模試解説を受けられるのは大きなチャンスです。